

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	石川 明雄	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9923		事務事業名称	水道メータ管理事業						短縮コード	経常	9923	臨時	
予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	03	水道メータ費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市水道事業給水条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・水道事業創設以来。 ・計量法により、水道メータの検定有効期限は8年以内と決められていることから。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
毎年給水人口の増加とともに年々新規・検定満了ともに増加の傾向にある。						大項目（節）	03	第3節水道						
						中 項 目	01	1. 水道						
						小項目（施策）	02	(2)安心・快適な給水の確保						
						細 項 目	02	②給水衛生対策						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道メータ								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 新規使用者の水道メータ設置。検定満了期限（8年）の水道メータ及び不動メータ等の交換。以上のメータの入出庫。								
	※平成25年度に計画していること： 新規使用者の水道メータ設置。検定満了期限（8年）の水道メータ及び不動メータ等の交換。以上のメータの入出庫。								
意図 （何を狙っているのか）	正確な使用量を把握。								
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外								
区 分					単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	水道メータ（給水戸数）の設置数	戸	81,694	82,000	82,317	84,000		
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	新規給水装置設置戸数	戸	1,192	1,211	1,693	1,026		
	指標 2	検定満了期限及び不動メータの交換個数	個	16,228	8,985	8,845	9,764		
	指標 3								
成果指標	指標 1	有収率	%	95.9	95.9	96.3	96.3		
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード	9923	事務事業名称	水道メータ管理事業				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			貯蔵品管理システムにおける水道メータの入・出庫管理を業務委託し経費の削減，業務の効率化を図っている。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			貯蔵品管理システムを活用し，水道メータの入・出庫管理業務等の効率化を図っている。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・生活環境の変化による，水需要の高まりとともにメータの精度への関心。 ・検定満了期限の水道メータ交換時期の需要者に対しての取替工事の事前通知の実施要望。									

所属長コメント	貯蔵品管理システムを活用したメータの交換・在庫管理等を委託を継続していくことにより経費の削減と業務の効率化を図っていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									